



2020年10月24日（土）活動報告

2020.10.28
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■活動日：2020年10月24日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山のメンバー 12名

■活動内容

- 今回は、午前中 上部植栽地の作業道の補修とフクロウの栄養準備に取り組み、ほぼ完了しました。
- また午後は、記念樹ゾーンと暗渠回りのミカンの生育状況の確認と施肥 及び 風で崩れてしまったシイタケの椀木の伏せ直しに取り組み、それぞれ完了することが出来ました。
- 一番の成果は 作業道が補修できたことで、これで伐り倒したままになっているヤマザクラや、間伐した木を車で搬出出来るようになりました。
- 更に巣箱に組み込んだカメラの動作確認を含め、フクロウの栄養準備が終わったことで、ペアリングが始まる年末迄、間伐やヤマザクラの処理に取り組む時間の余裕が出来ました。
- フクロウの巣箱架けについても、倉庫前に寝かせてある巣箱 2 個を新たに基地近くの木に架ける等、新しい取り組みが出来ます。
- 活動頂いた 12 名の皆さん 本当にお疲れ様でした。

■次回以降の取り組みについて

- 伐倒したままのヤマザクラの処理、植栽したクヌギ・コナラ・ヤマザクラの間伐、本年度最後の草刈り、フクロウの巣箱の架け増し等に取り組めます。
- 別途ご案内しますので奮ってご参加ください。

■作業道の補修工事完了！ 一番奥のUターン場所の草を刈り 車がUターン出来るようになれば完成です。



入口から少し入った補強箇所（入口方向から撮影）



奥近くの補強箇所（奥から入口に向かって撮影）

- 手順は、
 - ① 谷側の崩れが深い箇所に、香遠さん提供の瓦を補強材として差し込み、
 - ② 小林さん持参のコンクリート柱（コンクリートの圧縮強度試験用の試験体）やブロック片等を入れ、
 - ③ 車が傾かないように 更に土を入れ、路面全体を水平に均せば完了です。
- 上の写真は、①の崩れが深い箇所に瓦を差し込んでいる所です。



作業中



コンクリート柱やブロック片を入れ、更に山側の土を谷側に移し、ひたすら水平に均します。

完了!



整備が完了した作業道。 林道から入って、左から入口付近・中ほど・奥近くの状況です。

■フクロウの営巣準備 2号巣箱のヒナの取出口の付け替えから、カメラの作動チェックまで、全て完了。

1号巣箱



金井さんが持参の梯子を掛け巣替え実施

2号巣箱



一旦降ろして雛の取り出し口を付け替えました。土居さんのレスプロソーが大活躍です。



藁も入替えて再架設しました。



• 1号巣箱は最も奥の巣箱で、2014年に架け、その年から営巣した巣箱。2号巣箱は2016年に1号の手前20m程度離れた所に架けた巣箱で、2017年に1号と共にダブル営巣した巣箱です。

●午前中活動頂いた 12 名の皆さん。 良い笑顔です。

(真砂写・岡森さんは急用で帰られました。)



■シイタケの櫓木の架け替え

倒壊前は2列でしたが、整理して1列にしました。



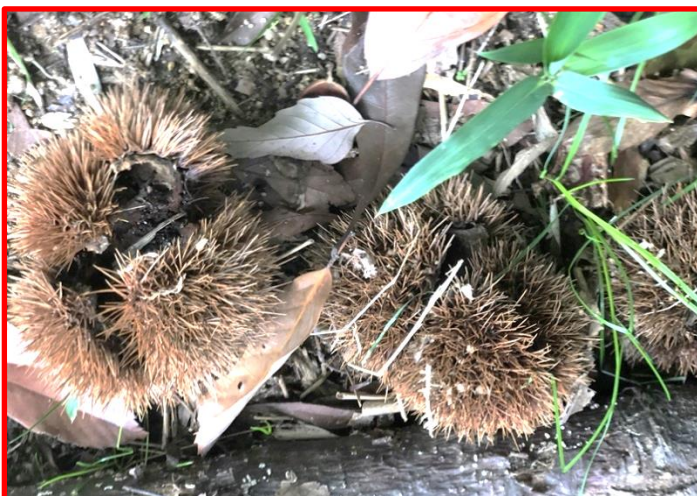
■記念樹ゾーン・暗渠ゾーンの自然色々



摘花漏れで結実していたミカン。 試食しましたがマイウでした。 ますます楽しみです。



野兔が、記念樹ゾーンの僅か 1 m²ほどの広さの中に何か所も大量に糞をしていました。食料が豊富なのかも。



- 今年もクリの木の下を中心に、クリのイガが無数にころがっていました。
- 全て空でしたから、イノシシが食べたのだと思いますが、一ヶ所、ヤマモモの回りに張ったトラロープの下に、数十個のイガが山積みになっていました。(写真右)
- 風で吹き寄せられたとも思えず、イノシシの食べ跡とすると不自然です。恐らく人が栗を採り、イガを纏めて捨てたのではないかと思います。来年は我々もしっかり収穫したいものです。